

あなたは自分の故郷が好きですか？

岐阜市立青山中学校 3年

鷺見心菜(すみ ここな)

突然ですが、あなたは自分の故郷が好きですか？

以前、学校の授業でこの質問が問われた際、周りでも好きと答えた人は少なく、私もどちらでもないと答えました。それと同時に「就職する時は岐阜から出てく。」「だって岐阜って田舎で何もないじゃん。」という声が多く聞こえてきました。

しかし、そんな私達の考えを覆す出来事があったのです。

それは昨年度の学習旅行の事です。当初私たちは福井県を訪れる予定でした。しかし新型コロナウイルスの影響で、なんと岐阜市商店街散策となってしまったのです。それを聞いたクラスメイトは、不満の色を隠せず、顔をしかめており、落胆の声さえ上がっていました。私もその中の一人でした。正直「市内を巡るだなんて、つまらなさそう……。」と後ろ向きな気持ちでいました。

ですが、いざ行ってみると、そのイメージは大きく変わりました。

歴史ある建物、おいしい飲食店、おしゃれな雑貨屋さん……。

シティタワー43の最上階から街を見下ろすと、岐阜市をまるで空を飛んでいるかのように一望でき、住宅街の傍らを流れる長良川、鎮座する山々を見渡すことができました。そんな自然と都会が調和するような景色は、ほっとするようなものでした。また、私たちが訪れた焼き芋専門店の店員さんは、とてもにこやかに対応してくださいました。そのおかげで私たちも自然と笑顔になれたのを今でも覚えています。

その他にも、私達の班では、道中に体調を悪くしてしまった子がいました。どうしようか困っていた私達に、さっと助けの手を差し伸べてくださる方がいました。それも何人も。こうやって人と人がつながることができるのが、岐阜市という街なのだと知りました。岐阜市はただの田舎なのではなく、自然が広がりつつ利便性もある住みやすい都市なのだと気が付きました。

このように活動していく中で、いつの間にか私の中の「岐阜市はつまらない」という概念は消えていました。そう感じたのは私だけではなかったと思います。その証拠にたくさんの人達が口を揃えて「思っていた以上にはるかに楽しかった!」と言っていたのです。

私は岐阜市について改めて触れたことで、普段何気なく見ていた景色の中から新しいものを沢山見つけ出すことができました。だからこそ、自分自身の生まれ育った街を大切にしたいという思いが芽生えたのです。最近では、長良川の清掃ボランティアにも参加しました。これからは若い世代である私達が特に地域を愛し、地域を守っていかなければなりません。住みやすく誰もが安心できるような街を私達の手で作っていくのです。

ぜひ皆さんも故郷に触れ、故郷を知ってみてください。そうすればきっと今まで見えてこなかった素晴らしいものに気付くことでしょう。

そうすればあなたも胸を張って言えるはずですよ。「私はこの街が大好きだ」と。